

教科名	技術・家庭科	校種	中学校
-----	--------	----	-----

科目の配当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など、授業の形態
1年	技術・家庭	必	2	講義、実験、実習によって展開 実習は教員1名、助手1名で実施
2年	技術・家庭	必	2	講義、実験、実習によって展開 実習は教員1名、助手1名で実施
3年	技術・家庭	必	1	講義、実験、実習によって展開 実習は教員1名、助手1名で実施

科目名 (教科名)	技術家庭 (技術家庭)				
担当教員	山本 美命				
学年	1	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を学ぶ。

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1 学期	<技術・家庭分野><ガイダンス> <家庭分野> A編 家族と家庭生活 1章 家族・家庭や地域とのかかわり C編 消費生活・環境 1章 私たちの消費生活 2章 消費者の権利と責任 <技術分野> 4編 情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> 中学生としての自己の生活の自立を図る 家族の一員としてできること、家族関係をよりよくする方法 家庭生活と地域のかかわり 買い物の法律的な意味、いろいろな販売方法や支払い方法 消費者トラブルについて、消費者を支える仕組み 消費者の権利と責任 情報の技術とは、情報のデジタル化、情報通信ネットワークの仕組み、情報モラル、情報セキュリティ プログラミングによる問題解決
	<家庭分野> B編 衣食住の生活 6章 私たちの住生活 1章 健康と食生活 2章 何をどれだけ食べたらよいか	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの働き 家族が暮らしやすい住まい方 健康を守る室内環境の整え方 家庭内事故の防止 災害に備えた安全な住まい方 食事の役割、健康に良い食習慣 食品に含まれる栄養素、1日分の献立作成
3 学期	3章 調理と食文化	<ul style="list-style-type: none"> 食品の選択と購入 調理の基礎 肉・魚・野菜を調理 地域の食文化 ※生徒の実態、コロナ感染拡大状況に応じて内容、進捗が変更されることがある。
評価の 観点	【知識・技能】	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識および技能を身につけている。
	【思考・判断・表現】	生活について見直し、課題をみつけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。
	【主体的に学習に取り組む態度】	生活の技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ●評価方法：定期試験（学期1回）と平常点（提出物・実習・実験態度など）で各学期の成績を算出する。 ●割合：定期試験50%、平常点50%として各学期の成績を算出する。 	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書：技術・家庭 「家庭分野」（教育図書） 「技術分野」（東京書籍） ●問題集：なし ●副教材：技術・家庭ノート「技術分野」（新学社） ワークノート「家庭分野」（教育図書） 	

科目名 (教科名)	技術家庭 (技術家庭)				
担当教員	山本 美命				
学年	2	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を学ぶ。

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	<技術分野> 3編 生物育成に関する技術 1章 生物を育てる技術の特徴 2章 生物を育てるための計画と管理 3章 生物育成に関する技術の評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術について ・生物の育成計画 ・植物の育成環境と観察
	1編 材料と加工に関する技術 1章 材料と加工法	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特徴 ・材料に適した加工法 ・製作品を丈夫にする方法
2学期	<技術分野> 2章 製作品の設計・製作 3章 材料と加工に関する技術の評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に役立つ製作品の構想 ・製図 ・作業手順を考えた製作
3学期	<技術分野> 2編 エネルギー変換に関する技術 1章 エネルギー変換と利用 2章 製作品の設計・製作 3章 エネルギー変換に関する技術の評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換について ・電気を作る仕組み、供給する仕組み ・電気回路について ・電気機器の安全な使用 ・運動を伝える仕組み ・エネルギー変換を利用した製作 <p>※生徒の実態、コロナ感染拡大状況に応じて内容、進度が変更されることがある。</p>
評価の観点	【知識・技能】	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識および技能を身につけている。
	【思考・判断・表現】	生活について見直し、課題をみつけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。
	【主体的に学習に取り組む態度】	生活の技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ●評価方法：定期試験（学期1回）と平常点（提出物・実習・実験態度など）で各学期の成績を算出する。 ●割合：定期試験50%、平常点50%として各学期の成績を算出する。 	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書：技術・家庭「技術分野」（東京書籍） ●問題集：なし ●副教材：技術・家庭ノート「技術分野・分冊版」（新学社） 	

科目名 (教科名)	技術家庭 (技術家庭)				
担当教員	平尾 三和子				
学年	3	単位数	1	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を学ぶ。

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	<家庭分野> C 衣生活・住生活と自立 第2章 わたしたちの衣生活 第3章 生活を豊かにする工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択 ・衣服の手入れ ・持続可能な社会を目指して ・生活を豊かにする製作・・・基礎縫いティッシュマスクケース エコバック きんちゃく袋
2学期	<家庭分野> A 家族・家庭と子どもの成長 第2章 幼児の生活と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達、幼児の生活の特徴 ・幼児と遊び、幼児の遊びと発達のかかわり ・幼児の知育おもちゃの製作・・・布えほん テディベア
3学期	<家庭分野> D 身近な消費生活と環境 第1章 わたしたちの消費生活	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会をめざして (環境にやさしいくらしの実践) ・生活を豊かにする製作・・・エコたわし (かぎ針編みの基礎) <p>※生徒の実態、コロナ感染拡大状況に応じて内容、進度に変更されることがある。</p>
評価の観点	【知識・技能】	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識および技能を身につけている。
	【思考・判断・表現】	生活について見直し、課題をみつけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。
	【主体的に学習に取り組む態度】	生活の技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ●評価方法：定期試験 (学期1回) と平常点 (提出物・実習・実験態度など) で各学期の成績を算出する。 ●割合：定期試験50%、平常点50%として各学期の成績を算出する。 	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書：技術・家庭 「家庭分野」 「技術分野」 (教育図書) ●問題集：なし ●副教材：なし 	